

守口市民体育館指定管理者制度 総合評価(施設所管課による評価)

【評価対象施設】 守口市民体育館

【指定管理者名】 守口ゆめづくりスポーツコミュニティ

【評価対象年度】 令和6年度

【施設所管課名】 市民生活部 生涯学習・スポーツ振興課

施設のサービス水準の視点 コメント

令和6年度より新指定管理者となり、当初は日々の運営がスムーズにいかない場面もみられたが、自主事業ではスポーツ企業の強みを活かしたイベントを展開し、参加者から好評を博した点は評価できる。
施設利用率については、昨年度の実績を維持し、利用者数についても昨年度の実績から大幅に増加しており評価できる。
しかしながら、施設利用者へのアンケート調査をイベント時にしか実施していなかったことから、利用者満足度については、適正に評価することが難しくなっている。

収支状況 コメント

令和6年度の収支は、22,870,085円の赤字決算となっており、初年度は収入額に比べ大幅な支出額の増となっている。
主な要因として、支出の部については、人件費の増加や光水熱費等の高騰及び事業実施に係る費用が膨らんだものである。
収入の部については、事業収入が予算額を上回ったが、施設利用料収入が予算額を下回っている。
今後は支出面での抑制に取組みつつ、施設利用や自主事業での来館者数の増加が見込まれるよう、利用者ニーズに沿った事業を効率的に実施し、施設の適切な管理運営やサービスの向上に努められたい。

市（施設所管課）による総合評価

施設については高い利用率で運営することができ、また指定管理者独自の強みを活かした事業展開を行うなど、初年度の運営として評価に値する。しかしながら、施設の利用者のニーズを反映させるためにも、積極的な利用者アンケートの収集は必ず実施されたい。
収支面では、初年度のためか予算額を大きく上回る赤字決算となっていることから、予算値と実績額の検証を行い、支出の抑制は当然のことながら、利用者のニーズに沿った自主事業等の開催や施設の適切な管理運営に努められたい。
結びに、交通機関や商業施設等が集積する市の中心部という立地において、スポーツ事業に関する豊富なノウハウを活かしたイベントを開催するとともに、市の行事等のコラボに加えて周辺企業や地域住民・団体との新たな協働により、市の推進する「まちのにぎわい」を創出する一翼として、本市のスポーツの振興に努められたい。

総合評価

B

総合評価区分

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった